

# 令和4年度 福岡市の教育施策



福岡市教育委員会

Fukuoka City Board of Education

# - 目次 -

	ページ
I 令和4年度 教育委員会 運営方針	1
1 施策・事業の推進	2
(1) 第2次教育振興基本計画の施策概要	
① 確かな学力の向上	4
② 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成	8
③ いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	9
④ 特別支援教育の推進	11
⑤ 魅力ある高校教育の推進	13
⑥ グローバル社会を生きるキャリア教育の推進	13
⑦ 読書活動の推進	13
⑧ チーム学校による組織力の強化、 学校と家庭・地域等の連携強化	14
⑨ 資質ある優秀な人材の確保、教職員の資質・ 能力の向上・活性化、コンプライアンスの推進	14
⑩ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	15
⑪ 教員が子どもと向き合う環境づくり	17
⑫ 子どもの安全確保に向けた取組みの推進	18
⑬ 家庭・地域等における教育の推進	18
(2) その他の主な施策概要	
① 人権教育の推進	19
② 図書館事業の充実	19
③ 放課後等における居場所の充実	20
2 コンプライアンスの推進、人材育成・活性化等	21
II 教育委員会予算	22
III 教育委員会組織図	23

# I 令和4年度 教育委員会 運営方針

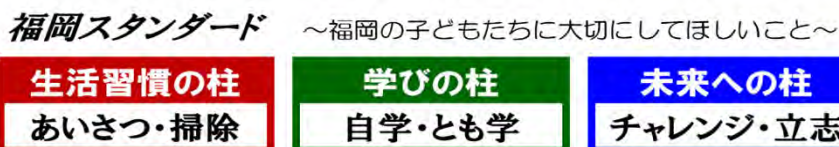
はじめに

福岡市では、これからの福岡市の教育の道筋を示す指針として、令和元年6月に「第2次福岡市教育振興基本計画」を策定しています。（計画期間：令和元～6年度）

この計画では、教育の目標となるめざす子ども像に

## 「やさしさとたくましさをもち ともに学び未来を創り出す子ども」

を掲げるとともに、福岡の子どもたちに大切にしてほしいこととして、「あいさつ・掃除」を生活習慣の柱、「自学・とも学」を学びの柱、「チャレンジ・立志」を未来への柱とする福岡スタンダードを示しています。



また、めざす子ども像の実現に向けて取り組む17の施策を定め、取組みの方向性を示すとともに、その施策を貫く柱として、特に重視する3つの教育の方法「福岡スタイル」を掲げ、本市教育行政の推進を図っています。

### <福岡スタイル>

- ★ 9年間を見通した小中連携教育
- ★ 子ども・家庭への支援
- ★ ICTを活用した教育活動の充実

### <施策>

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1 確かな学力の向上             | 11 資質ある優秀な人材の確保        |
| 2 豊かな人権感覚と道徳性の育成       | 12 教職員の資質・能力の向上・活性化    |
| 3 健やかな体の育成             | 13 コンプライアンスの推進         |
| 4 いじめ・不登校等の未然防止・早期対応   | 14 安心して学ぶことができる教育環境の整備 |
| 5 特別支援教育の推進            | 15 教員が子どもと向き合う環境づくり    |
| 6 魅力ある高校教育の推進          | 16 子どもの安全確保に向けた取組みの推進  |
| 7 グローバル社会を生きるキャリア教育の推進 | 17 家庭・地域等における教育の推進     |
| 8 読書活動の推進              |                        |
| 9 チーム学校による組織力の強化       |                        |
| 10 学校と家庭・地域等の連携強化      |                        |

第2次教育振興基本計画の方向性に沿って取り組む具体的な事業や取組事項について、次ページ以降に示します。

# 重点的な取組み

## 1 施策・事業の推進

### 現状及び課題

#### (1) 確かな学力の向上

- ① 1人1台端末などのICT環境を最大限に活用し、児童生徒一人ひとりの課題に応じた学力向上の取組みの推進が必要である。
- ② これからのデジタル化時代において質の高い教育を実現するためには、データ駆動型教育への転換を図っていく必要がある。
- ③ 様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方々に、就学の機会を提供する必要がある。

#### (2) いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

児童生徒を取り巻く環境が多様化・複雑化しており、専門性の高い支援体制とともに、子どもが抱えるいじめや不登校、ヤングケアラー、コロナ禍における心のケアなどの課題に対応するための教育相談・支援体制の充実が必要である。

#### (3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒数の増加や多様化する教育的ニーズに対応するため、個に応じた適切な指導・支援が必要であるとともに、コロナ禍で学校生活に困難のある児童生徒の教育環境の充実を図る必要がある。

#### (4) 教職員の資質・能力の向上・活性化

ICT環境を授業で効果的に活用するため、各校のICT活用推進リーダー等のスキルアップを図るとともに、教員一人ひとりのICT活用指導力の向上が必要である。

#### (5) 安心して学ぶことができる教育環境の整備

改修時期を迎えた学校施設の累積や、一部の地域では大規模な住宅開発などによる児童生徒の増加が顕著であることから、子どもたちが安全・安心かつ、適正な教育環境で学ぶことができるよう学校施設の早急な整備が必要である。

#### (6) 教員が子どもと向き合う環境づくり

学校や教員だけでは解決できない抜本的な方策や取組みによる働き方改革、教職員の負担軽減が必要である。

## 取組みの方向性・具体的な取組み

### (1) 確かな学力の向上

- ① きめ細かな指導を充実させるため、令和4年度から小中学校全学年で35人以下学級を本格実施するとともに、学校体制の充実のため教員配置を拡充し、1人1台端末などのICT環境を最大限に活用した学力向上の取組みを推進する。
- ② データ駆動型教育への転換を見据え、教育データの効果的な活用に向けた調査や分析手法の検討を実施する。
- ③ 令和4年4月に公立夜間中学「福岡きぼう中学校」を開校する。

### (2) いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

中学校ブロックの学校数等に応じてスクールソーシャルワーカーを増員し、スクールカウンセラーや教育相談コーディネーター等と連携し、「チーム学校」として児童生徒の心のケア及び教育相談・支援体制の充実を図る。

### (3) 特別支援教育の推進

対象となる児童生徒数を踏まえ、特別支援学級や特別支援学校を整備するとともに、難聴や肢体不自由の児童生徒を支援する補助装置を導入する。

### (4) 教職員の資質・能力の向上・活性化

各校のICT活用推進リーダー等のスキルアップ、リーダー等を中心とした校内研修で、教員一人ひとりのICT活用指導力の向上を図るとともに、モデル校によるICTを活用した教育実践事例を創出し、実践事例を踏まえた授業改善を展開する。

### (5) 安心して学ぶことができる教育環境の整備

安心して学習できる良好な教育環境の確保と維持を図るため、学校施設の老朽化対策及び小・中学校における特別教室への空調整備を推進するとともに、地域の実情に応じた学校規模適正化の手法の検討などを行う。

### (6) 教員が子どもと向き合う環境づくり

学校における働き方改革推進プログラムの進行管理を行いながら、学校の庶務事務の効率化を図るシステムの導入や、スクール・サポート・スタッフなどの専門スタッフの配置拡充等により、教員の働き方改革を推進する。



# (1) 第2次教育振興基本計画の施策概要

## ① 確かな学力の向上

小・中学校9年間の発達段階区分に応じた教育を推進し、きめ細かな指導を実施するため、小・中学校全学年での35人以下学級を本格実施し、一部教科担任制や少人数指導を組み合わせ、教育実践体制を整備するとともに、義務教育9年間の教育活動を見通した小中連携教育を推進する。

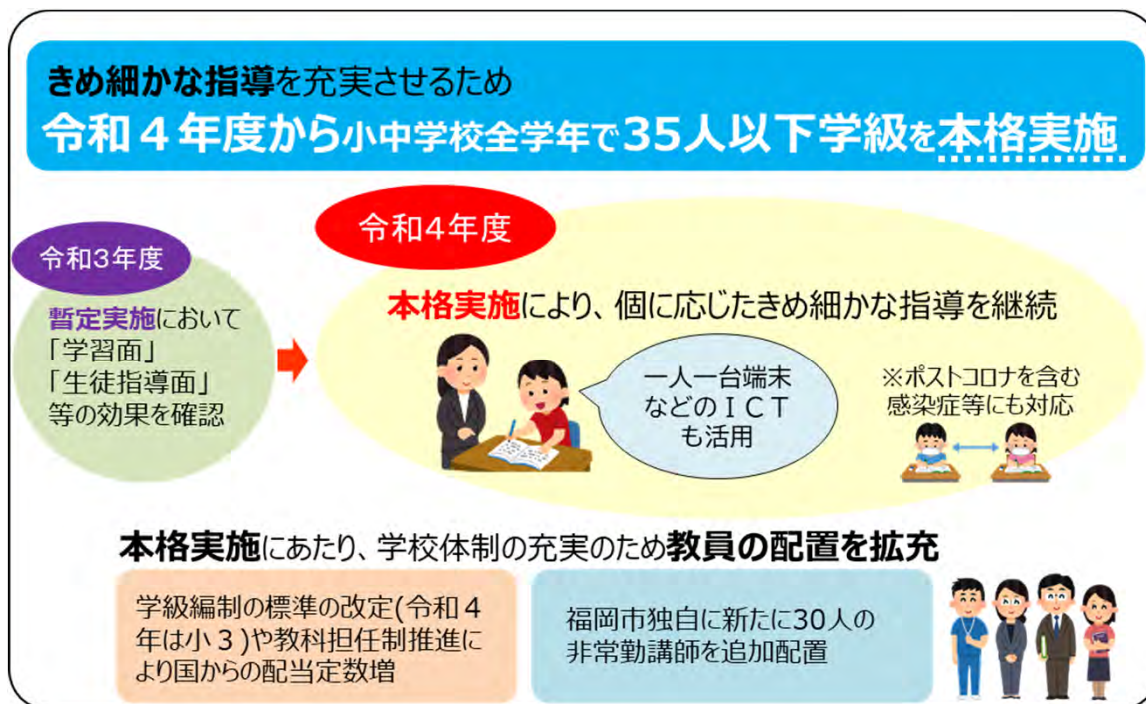
また、AIドリルを活用した補充学習を実施するとともに、全小学校の5、6年及び全中学校の児童生徒に対して学習者用デジタル教科書を一部教科へ導入する。

さらに、データ駆動型教育への転換を見据え、教育データの効果的な活用に向けた調査や分析手法の検討に取り組む。

あわせて、様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方々に、就学の機会を提供するため、公立夜間中学を開校する。

(★：新規事業、☆：拡充事業) ※金額は令和4年度予算額を記載

★35人以下学級の本格実施にあわせた学校体制の充実 98,053千円  
教員の配置拡充により、きめ細かな指導を充実



### ・学力パワーアップ総合推進事業（詳細5ページ）

すべての小中学校で学力向上推進プランを策定し、検証改善サイクルに基づいた実効性のあ  
る学力向上の取り組みを行うとともに、AIドリルを活用した補充学習を時間割に位置付けて実施

### ・教育ICT活用推進事業（詳細5ページ） 753,176千円

普通教室へのプロジェクタ、指導者用端末の整備及びICTを活用した教材共有や動画配信等

### ・GIGAスクール構想推進事業（詳細5ページ） 1,204,494千円

児童生徒1人1台端末の運用・管理、ICT支援員、ヘルプデスクの設置等

### ☆オンライン環境支援事業（詳細5、6ページ） 156,625千円

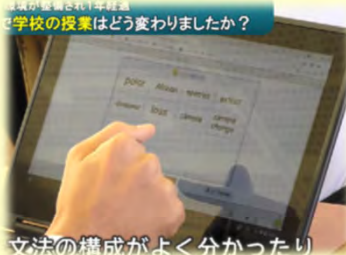
インターネット環境がない家庭へモバイルルータの貸出、学習者用デジタル教科書を小学校  
5・6年、中学校全学年に2教科導入

## 1人1台端末を活用した学習スタイル



### 1人1人の可能性を最大限に引き出す学習

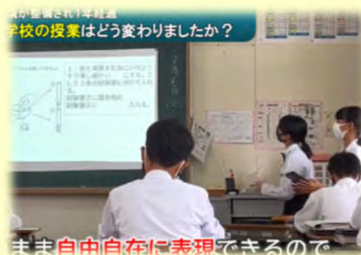
#### デジタル教科書等



文法の構成がよく分かったり  
**視覚的で  
わかりやすい**

**学習意欲、理解度  
の向上！**

#### 学習支援ソフト



まま**自由自在に表現**できるので  
**考えを表現、  
共有しやすい**

**主体的・対話的で  
深い学びを実現！**

#### AIドリル



**自分の理解度  
に応じて**

**基礎学力の定着！**

## オンライン授業

#### 院内学級

入院中の児童生徒が  
オンラインで授業に参加

#### 双方向型授業



**学びをとめない！**

#### ステップルーム

不登校等の児童生徒がオン  
ラインで授業に参加

#### 大学・企業等

専門家を招いて、特色  
のある授業の実施

#### 家庭

登校不安や不登校等の児童  
生徒が授業に参加

## 家庭学習の充実

**端末持ち帰り**

**通信環境がない  
家庭への支援**

- 家庭に通信環境がない家庭へモバイルルータ貸出
- 就学援助世帯に対し、通信費の一部を助成



#### 宿題

**AIドリルを使った宿題**

自分のレベル・  
ペースに合わせた学習



#### 自学

インターネットや動画を  
活用した調べ学習や  
**予習・復習**

**福岡TSUNAGARU Cloud**



オンライン環境支援事業(学習者用デジタル教科書)

デジタル教科書本格導入に向けた  
実践授業と分析・検証



学習者用デジタル教科書: 英語

R3年度

すべての小・中学校に

**1教科**整備 (選択)  
(対象学年: 小5~中3)

<国>  
3分の2の小中学校に整備

<福岡市> + **市独自**  
3分の1の小中学校に整備

R4年度 **すべての小・中学校に**

**2教科**整備 (英語+選択)  
(対象学年: 小5~中3)

<国>  
・英語 (全小中学校)  
・他1教科 (6~8割の小中学校)

<福岡市> + **市独自**  
残り2~4割に1教科  
(国語または算数・数学)を整備

★教育ビッグデータ活用調査検討経費 30,556千円

データ駆動型教育への転換を見据え、教育データの効果的な活用に向けた調査や分析手法の検討を実施

◆教育ビッグデータの活用イメージ



様々なデータの掛け合わせにより・・・  
**優れた指導方法の発掘**

個人データのひもづけにより・・・  
**伸びた好事例の発見**

【令和4年度】

- ・既存データやシステムの**現状分析**
- ・**新規に収集**するデータの検討
- ・**AI等による分析**方法の検討

ロード  
マップ  
の策定

エビデンスに基づいて…

**確かな学力の向上!**  
**Well-beingの向上!**



※データ駆動型教育とは?

様々な教育データ(学習面や生活・健康面、教師の指導面)を活用し、現状把握と効果的な教育政策を立案・実施すること。

・生活習慣・学習定着度調査

1人1台端末を活用し、小中学校の全児童生徒に対して、生活習慣等と学習定着度の調査を実施

・能古小中ICT活用事業 3,465千円

学習者用デジタル教科書及び電子ドリル等の活用

・小学校外国語活動支援事業 33,337千円

小学校3・4年において、ゲストティーチャーを活用した英語教育を推進

・ネイティブスピーカー委託事業 447,266千円

小学校5・6年、中学校全学年、特別支援学校において、ネイティブスピーカーを活用した英語教育を推進



- ・ **子ども日本語サポートプロジェクト** 27,606千円  
日本語指導が必要な児童生徒への支援の実施
- ・ **外国人就学状況訪問調査** 2,124千円  
外国人児童生徒の就学状況を把握するため、訪問調査を実施
- ・ **ことば響く街ふくおか推進事業** 495千円  
音読・朗読ハンドブック(デジタル版)の活用により、子どもたちの言語能力を育成
- ・ **科学わくわくプラン** 496千円  
自然科学や環境教育等の専門家による出前授業や科学教室、科学作品のコンテストを実施

★ **公立夜間中学運営費** 11,059千円

様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方々に、就学の機会を提供するため、公立夜間中学「福岡きぼう中学校」を開校・運営

**令和4年4月に福岡きぼう中学校を開校します**



《目指す学校像》

一人ひとりが自分の夢に向かい  
「きぼう」をもって安心して学べる学校



**Point 1**

**昼間の中学校と同じ9教科を夜間に学習**

【時間割の例】

	月	火	水	木	金
1	理科	英語	数学	英語	国語
2	数学	理科	国語	社会	英語
3	社会	社会	理科	数学	技術/ 家庭
4	国語	音楽	体育	美術	道徳/ 学活

※上記のほか、学校行事も実施

【1日の流れ】

ホームルーム	17:50 ~ 18:00
1時間目	18:00 ~ 18:40
2時間目	18:45 ~ 19:25
3時間目	19:45 ~ 20:25
4時間目	20:30 ~ 21:10
掃除	21:10 ~ 21:15
ホームルーム	21:15 ~ 21:20

**Point 2**

**一人ひとりに合わせた学習**

- ・ 一斉授業を基本に、必要に応じて個別指導を実施
- ・ 習熟度に応じて、小学校の内容から勉強
- ・ 日本語の学習が必要な方には、日本語指導を実施



**Point 3**

**オンライン授業の活用**

- ・ 仕事などで通学が難しい日は、オンラインで授業を受けることが可能(録画配信も実施)



**Point 4**

**一人ひとりの実情に合わせた支援**

- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置
- ・ 経済的に困っている方の就学を援助

## ② 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成

学校教育活動全体を通じた人権教育や、考え、議論する道徳教育により、多様性を認め合い、人権を守ろうとする意識・態度をはぐくむとともに、学校の特色を生かした様々な体験活動を通して、豊かな心の育成を図る。

また、児童生徒の運動習慣の基礎を培い、運動に親しむことを通して、体力向上の取組みを推進するとともに、授業の充実等を図るため、小学校の水泳授業において民間スイミングスクールを活用するモデル事業を実施する。

さらに、健全な食生活の基礎となる食育を推進し、生涯にわたって心身の健康を保持増進していく力の育成を図る。

- ・ **特色ある教育推進事業** 32,262千円  
全ての市立小・中・高・特支学校で、地域人材や社会施設等を活用し、国際理解や福祉など各学校の実情に応じたテーマについての教育を実施
- ・ **自然教室** 81,930千円  
各学校の実態(児童生徒の状況、校区の環境など)に即したねらいをたて、より高い教育的効果が得られる自然体験活動を実施
- ・ **学校における人権教育** 13,512千円  
各学校における研修費用の負担、研究団体に対する研修費の交付
- ・ **体力向上推進事業** 1,266千円  
児童生徒の体力向上を目指し、小学校に実技指導員派遣及び教員研修会の実施
- ・ **学校水泳指導における民間プールの活用モデル事業** 2,317千円  
民間委託による水泳指導の充実、教員の負担軽減、学校プール維持管理費削減等の効果検証
- ・ **食育推進事業** 236千円  
栄養教諭等による食育推進事業を実施



### ③ いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談コーディネーターを配置し、こども総合相談センター等の関係機関とも連携しながら、いじめや不登校などの課題を抱える子どもへの支援を行う。

また、スクールソーシャルワーカーを中学校ブロックの学校数等に応じて増員するとともに、開校する公立夜間中学にも配置することで、さらなる支援体制の強化を図る。

さらに、Q-Uアンケートや学校ネットパトロール、SNSを活用した教育相談等により、いじめや不登校の兆候をいち早く把握し、早期対応を行うとともに、「いじめを生まない都市ふくおか」を実現するため、児童生徒が主体的に取り組む「いじめゼロサミット」の開催や「いじめゼロ宣言」に基づく各学校での取組みを支援する。

- ・ **スクールカウンセラー等活用事業（詳細10ページ）** 480,208千円  
全ての市立学校にスクールカウンセラーを配置

- ☆ **スクールソーシャルワーカー活用事業（詳細10ページ）** 311,057千円  
スクールソーシャルワーカーを全ての中学校ブロック及び高等学校、特別支援学校、夜間中学へ配置。また、中学校ブロックの学校数等に応じてSSWを増員(71名→79名)

- ・ **教育相談コーディネーターの配置（詳細10ページ）**  
不登校児童生徒への対応を行う教員を全中学校ブロックに配置

- ・ **SNSを活用した教育相談事業（詳細10ページ）** 18,841千円  
いじめや不登校等の児童生徒の様々な悩みに対応するため、SNSを活用した教育相談を実施

- ・ **教育相談機能の充実** 78,073千円  
教育カウンセラーによる電話相談等の実施、適応指導教室の運営

- ・ **いじめ・不登校ひきこもり対策支援事業** 31,051千円  
児童生徒の学級集団における心理状況を把握するため、学級集団アセスメント(全市一斉Q-Uアンケート)を実施

- ・ **学校ネットパトロール事業** 4,921千円  
専門事業者への委託による学校非公式サイト等の監視、学校等への情報提供

- ・ **いじめゼロプロジェクト** 3,000千円  
児童生徒が主体となった、いじめに対する取組みを推進するための「いじめゼロサミット」の開催等





## 令和4年度の教育相談・支援体制

### 教育・心理・福祉の専門スタッフによる連携した支援

#### 福祉

#### スクールソーシャルワーカー

社会福祉士・精神保健福祉士

福祉の面の支援、関係機関との連携を充実

・全中学校ブロック・高等学校・特別支援学校 配置

【令和4年度】

拡充

- ・夜間中学 → 新規配置
- ・中学校ブロック → 学校数等に応じて増員



R3年度  
71名

➔ 79名



支援が必要な子どもや家庭に  
寄り添いながらサポート！

医療・福祉機関  
警察・司法機関  
等とも連携

いじめ… 不登校… 貧困…  
虐待… ヤングケアラー…

#### 心理

#### スクールカウンセラー

公認心理師・臨床心理士

カウンセリングを通して心をケア

全学校 週2日 配置 **110名**

※小呂・玄界小中学校は週1日配置



#### 教育

#### 教育相談コーディネーター

不登校対応の教員

教育相談の中心的な役割

全中学校ブロック配置 **69名**



#### こどもSNS相談

子ども達が気軽に相談できるよう、  
SNSを活用した教育相談を実施



#### 全員面談の実施

心のケアのため、全児童生徒  
と教師の1対1の面談を実施



## ④ 特別支援教育の推進

一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うため、小・中学校の特別支援学級や、通級指導教室等の多様な学びの場を整備し、教育環境の充実を図るとともに、特別支援学校卒業生の就労率の向上を目指し、就労支援に特化した特別支援学校高等部を新設し、障がいのある生徒の将来の自立を促進する。

また、配慮を要する児童生徒に対して、担当教員と連携し学習活動や学校生活に必要な支援を行う学校生活支援員を配置するとともに、医療的ケアが必要な児童生徒を支援する学校看護師を配置し、校外学習を含め学校生活の充実を図る。

さらに、補聴器を使用している児童生徒の学習環境を整えるため、聴こえを補う新たな補助装置を導入するとともに、肢体不自由のある児童生徒の安全性の向上を図るため、エレベーターの設置及び介助者用アシストスーツの導入を行う。

### ★特別支援学級の整備 76,323千円

自閉症・情緒障がい特別支援学級の新設(小学校3校、中学校2校)、増級(小学校4校、中学校1校)

難聴特別支援学級の新設(小学校1校)

弱視特別支援学級の新設(小学校1校)

常時車いすを使用する児童生徒の安全・安心を確保するため、エレベーター設置の設計を実施(小学校2校、中学校1校)

### ★通級指導教室の整備 82,003千円

LD・ADHD等通級指導教室の新設(小学校2校、中学校1校)、増級(小学校1校)

### ★特別支援学校高等部の新設 148,155千円

就労支援に特化した特別支援学校(知的障がい)高等部の2校新設に向けた開校準備及び設計等

#### 自閉症・情緒障がい 特別支援学級の拡充

→対象となる児童生徒の増加や  
通学距離の課題に対応

R4新設 小学校3校  
中学校2校



#### 就労支援に特化した特別 支援学校高等部を2校新設

就労を目指した教育課程

→自立して社会で活躍する生徒の育成  
→特別支援学校卒業生の**就労率向上**



R7開校

【東エリア】  
市営城浜住宅建て替  
えにより創出された  
土地を活用

R4実施設計

R5開校

【市全域エリア】旧住吉中学校を活用

R4 改修工事 及び 開校準備

#### エレベーターの設置

常時車いすを使用する児童生徒が在籍  
している小中学校に設置  
→安全・安心の確保

R4設計 小学校2校  
中学校1校



#### 難聴・弱視特別支援学級の拡充

R4新設 難聴 : 小学校1校  
弱視 : 小学校1校

・特別支援学校就労支援事業 10,141千円  
就職指導員による職場開拓、実務者による技能指導、企業・保護者対象のセミナー等を実施

☆学校生活支援事業 421,429千円  
配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援員を増員(268名→318名)

☆医療的ケア支援体制整備 173,368千円  
医療的ケア支援体制を充実させるため、小・中・特別支援学校の学校看護師を増員(44名→52名)

★聴覚障がいのある児童生徒の学習環境整備 7,830千円  
補聴器を装着している難聴の児童生徒が在籍する小中学校へ、聴こえを補う補助装置を導入(小学校59台、中学校24台)

★学校における介助アシストスーツ整備 9,200千円  
肢体不自由児童生徒が在籍する小中学校・特別支援学校へ、介助をアシストするスーツを整備(小学校7台、中学校5台、特別支援学校34台)

### 難聴の児童生徒の 聴こえを補う補助装置の導入

補聴器と電波でつながるマイク  
→周囲の雑音が低減される  
→口元が見えなくても話している  
内容がわかる

小・中学校に 83台

手持型



児童生徒  
個別の発表時

卓上型



グループ  
学習時



発表者

マスクでも  
よく聴こえる!



難聴児

聴きとり  
やすい  
環境の実現

### 肢体不自由の児童生徒への 介助アシストスーツの導入

介助者が着用するアシストスーツ  
→負担を軽減し、安全に介助できる  
→子どもが安心して介助を受けられる

小・中・特別支援学校に 46台

安全に  
介助できる

安心して  
生活できる



安全・安心な  
介助ができる  
環境の実現

## ⑤ 魅力ある高校教育の推進

生徒一人ひとりの進路希望を実現するとともに、勤労観・職業観を育成するため、キャリア教育を推進する。

また、各学校の魅力を高めるための特色ある取組みを推進する。

- ・ **進路実現・キャリア教育推進事業** 4,983千円  
福岡女子高校に進路指導員の配置、各学校の特色や創意工夫を生かした外部講師による講話の実施等
- ・ **魅力ある高校づくりの推進** 10,025千円  
各学校の魅力を高めるための特色ある取組みの推進等

## ⑥ グローバル社会を生きるキャリア教育の推進

子どもたちが将来に夢や希望をもち、その実現に向けてチャレンジする意欲を育成するため、職業探究プログラムや未来を切り拓くワークショップの実施など、アントレプレナーシップ教育を推進する。

また、職場体験学習を実施し、勤労観や職業観を身に付け、社会的なルールやマナーを学ぶことを推進する。

- ・ **アントレプレナーシップ教育** 3,745千円  
小学校では「職業探究プログラム」、中学校では「未来を切り拓くワークショップ」等のキャリア教育を推進
- ・ **職場体験学習事業** 270千円  
全中学校で2年生を中心に3日間程度の職場体験学習を実施
- ・ **小学校外国語活動支援事業（再掲）**
- ・ **ネイティブスピーカー委託事業（再掲）**



## ⑦ 読書活動の推進

子どもが進んで学校図書館に足を運び学習に役立てるとともに、読書の楽しさを味わえるよう「読書・学習・情報」センターとしての機能を充実し、確かな学力の向上及び豊かな心の育成を図る。

また、学校司書を効果的に配置し、学校図書館や授業の充実を図る。

- ・ **学校図書館支援センター事業** 7,071千円  
各学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3つの観点からの支援を実施
- ・ **「子どもと本をつなぐ学校図書館」推進事業** 54,133千円  
学校司書を全ての小中学校に配置し、学校図書館の充実と読書活動の推進に取り組み、確かな学力と豊かな心を育成
- ・ **子ども読書活動の推進** 2,305千円  
福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)の策定、地域の子ども読書活動の支援等



## ⑧ チーム学校による組織力の強化、学校と家庭・地域等の連携強化

校長を中心とした組織的・協働的な学校経営を推進するため、学校の組織力の強化に取り組むとともに、地域と連携し、開かれた、信頼される学校づくりを進める。

- ・「学生サポーター」制度活用事業 283千円  
協定を結んだ19大学から派遣された「学生サポーター」が補助として教育活動に参加
- ・学校公開週間推進事業 17千円  
市立学校を地域住民等に公開(11/1～7)
- ・学校サポーター会議推進事業 3,237千円  
開かれた学校づくりを推進し、学校教育の活性化を図るため、全市立学校に設置(各学校3回/年程度の開催)

## ⑨ 資質ある優秀な人材の確保、教職員の資質・能力の向上・活性化、コンプライアンスの推進

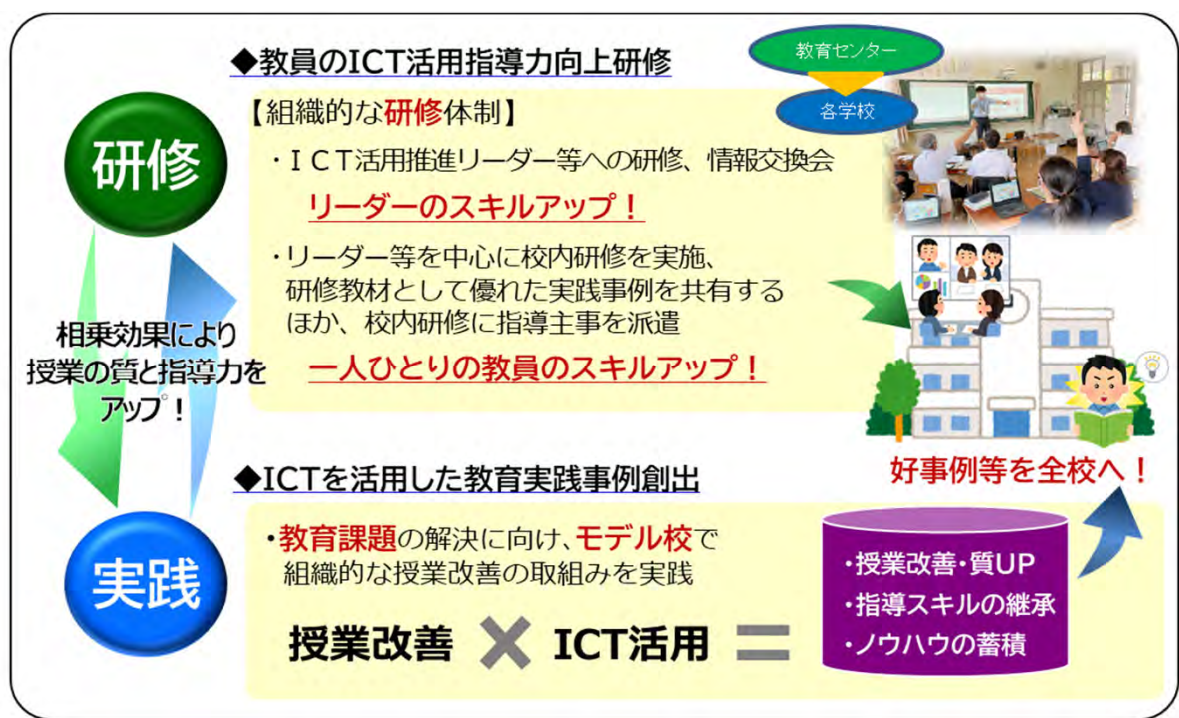
確かな力量と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちを導くことができる教員の確保と指導力の向上に取り組む。さらに、1人1台端末を活用し、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために、教員のICT活用指導力向上を図るとともに、小・中学校において選定したモデル校にて、ICTを活用した授業の実践事例を創出し、全小・中学校に展開することで、児童生徒の学びの質の向上を図る。

また、メンタルヘルスマネジメントによる教員の心の健康づくりの取組みを推進する。

- ・教職員の指導力向上を図る研修 15,394千円  
経験年数・職能に応じた研修を実施するほか、ICT活用指導力の向上を図る研修など課題に応じた研修を実施。また、国の研究機関などへの派遣研修を実施

### ★ICTを活用した教育実践事例創出事業 4,780千円

児童生徒の学びの質の向上のため、モデル校でICTを活用した教育実践事例を創出し、全小中学校へ展開





- ・ **多様な人材の確保** 22,598千円  
人物重視の採用選考の実施。令和4年度の採用試験から、現役学生には教育実習評価及び大学の推薦に基づく選考、本市講師等には勤務実績を考慮した選考をそれぞれ導入
- ・ **調査研究** 5,204千円  
指導主事や長期研修員等による調査研究および、教育センター研究協力校の研究推進を支援
- ・ **教職員メンタルヘルスマネジメント事業** 9,227千円  
心の病の予防、早期対策及び職場復帰支援、再発防止の取組みを実施

## ⑩ 安心して学ぶことができる教育環境の整備

安心して学習できる良好な教育環境の確保と維持を図るため、小・中学校特別教室への空調整備及び学校施設のアセットマネジメントを推進する。

また、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、小規模校や過大規模校の課題解決に向けた取組みや、西都北小学校、アイランドシティ地区新設小学校、元岡地区新設中学校の整備を推進する。

さらに、学校給食センターについては、3か所の給食センターの維持管理・運営を適切に行い、衛生的な環境のもと、食物アレルギーへの対応や献立の充実を図り、安全・安心でおいしい給食を提供する。

### ☆大規模改造事業 2,402,879千円

アセットマネジメントを推進するため、経年により老朽化した校舎等の大規模改造を実施するほか、建替えモデルプランを作成

- ・ **校舎及び附帯施設等整備** 2,903,873千円  
内外壁や学校附帯施設等の改修、トイレの洋式化・乾式化等
- ・ **校舎増築（不足教室整備）** 4,610,769千円  
教室不足が見込まれる学校について増築等の対策を実施
- ・ **普通教室空調整備** 274,237千円  
普通教室空調設備の維持管理及び学級増に伴う空調設備の追加整備
- ・ **特別教室空調整備** 2,551,891千円  
小・中学校特別教室空調設備の設計・施工等

## 健康で快適に学べる環境が整います！

**全ての特別教室への空調整備が完了 令和4年12月**

144校 757教室（小学校 90校 377教室、中学校 54校 380教室）に整備

整備対象の特別教室は・・・  
小学校：理科室、音楽室、図工室、家庭科室  
中学校：理科室、音楽室、美術室、技術科室、家庭科室



- ・ **学校規模適正化事業** 707,531千円  
舞鶴小中学校の第2グラウンド用地建物解体工事、西新小学校の増築工事等
- ・ **西都北小学校整備** 119,384千円  
西都北小学校の校舎建設工事、グラウンド工事等
- ・ **アイランドシティ地区新設校整備** 517,138千円  
照葉北小学校の分離新設に向けた校舎建設工事等
- ・ **元岡地区新設中学校整備** 1,006,266千円  
元岡中学校の分離新設に向けた造成工事等

子どもたちにより良い教育環境を提供するため、過大規模校の分離新設等による学校規模の適正化を推進

#### 過大規模校への対応

過大規模(31学級以上)の状態が長期継続すると見込まれる場合



- 学校の分離新設
- 通学区域の変更
- 校舎増築等



#### 令和4年度の具体的な取組み

##### 分離新設

- 西都北小学校(R5.4開校予定)
  - 校舎建設工事、グラウンド工事 等
- アイランドシティ地区新設小学校(R6.4開校予定)
  - 校舎建設工事 等
- 元岡地区新設中学校(R8.4開校予定)
  - 造成工事 等

##### 校舎増築等

- 西新小学校
  - 校舎増築工事
- 舞鶴小中学校
  - 第2グラウンド用地建物解体工事

- ・ **学校給食センター再整備事業** 2,351,317千円  
第1、第2、第3給食センターの維持管理・運営

☆特別支援学級整備 (再掲)

☆通級指導教室整備 (再掲)

☆特別支援学校高等部の新設 (再掲)

## ⑪ 教員が子どもと向き合う環境づくり

教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、学校の庶務事務の効率化を図る教職員庶務事務システムの運用を開始するとともに、スクール・サポート・スタッフを配置する。

また、学校における働き方改革推進プログラムの進行管理を行いながら、校務の情報化による事務の効率化や、部活動指導員の配置、学校で発生する諸問題の早期解決に向けた支援等により、教員が子どもたちに深く関わり、指導に専念できる環境づくりに取り組む。

- ・ **教職員庶務事務システム運用保守** 35,130千円

学校事務の適正化や効率化を図る教職員庶務事務システムの運用開始

- ・ **高等学校校務支援システム導入経費** 8,047千円

教職員の校務の効率化を図るため、校務支援システムを導入

- ☆ **スクール・サポート・スタッフ配置事業** 252,461千円

教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教員の負担軽減を図るため、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うスタッフの配置を拡充

- ・ **共同学校事務室運営事業** 4,912千円

学校事務の集約処理による効率化及び教員の負担軽減のための共同学校事務室を市内3か所(東部、中部、西部)に設置

- ・ **校務情報化推進事業** 934,171千円

校務支援システムの運用・研修等ならびに校務用情報機器等の整備・更新

- ☆ **部活動支援事業** 119,408千円

中学校・高等学校での部活動指導員や部活動支援員の配置。文部科学省の事業を活用し、中学校2部活程度で休日の部活動の地域移行にかかるモデル事業を実施

- ・ **学校問題解決支援事業** 9,833千円

学校保護者相談室の運営及び学校問題法律相談の実施

- ・ **スクールカウンセラー等活用事業(再掲)**

- ☆ **スクールソーシャルワーカー活用事業(再掲)**

- ・ **教育相談コーディネーターの配置(再掲)**

## ⑫ 子どもの安全確保に向けた取組みの推進

子どもたちの登下校時の安全確保を図るため、小学校1年生及び市外からの転入生へ防犯ブザーを配付するとともに、スクールガードリーダーによる学校の巡回指導やスクールガード養成講習会を実施する。

また、通学路における安全点検結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、地域ぐるみで学校の安全を守る取組みを進める。

- ・ **子どもの安全対策** 4,904千円  
小学校1年生及び市外からの転校生に防犯ブザーを配付
- ・ **地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業** 1,394千円  
スクールガードの養成、スクールガードリーダーによる巡回指導等



## ⑬ 家庭・地域等における教育の推進

子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識を身につけるため、家庭教育に関する学習情報の提供、PTAやNPOと連携した講座・講演会等の実施など、地域全体で家庭教育を支援する取組みを推進する。

また、人権尊重のまちづくりに取り組む市民の主体的な活動への支援を通して、人権教育を推進する。

- ・ **家庭教育支援事業** 1,128千円  
入学説明会等を活用した保護者学習会への講師派遣、PTAと連携した講座等の実施
- ・ **NPOとの共働による不登校児童生徒の保護者支援事業** 1,185千円  
不登校セミナー等の開催、「不登校ほっとライン」の運営
- ・ **家庭の教育力パワーアップ事業** 4,370千円  
保護者グループが行う家庭教育に関する学習活動の支援
- ・ **地域学び場応援事業** 2,000千円  
保護者を中心とした地域グループが行う中学生を対象とする放課後等補充学習活動の支援



## (2) その他の主な施策概要

### ① 人権教育の推進

「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」に基づき、学校教育においては、学校の教育活動全体を通じて人権教育の積極的な推進を図るとともに、社会教育においては、人権尊重のまちづくりに取り組む市民の主体的な活動への支援を通して、人権教育を推進する。

- ・ **人権啓発地域推進組織育成** 37,393千円  
人権啓発地域推進組織の活動支援、補助金交付
- ・ **共生する地域づくり事業** 2,600千円  
人権課題の当事者を中心とするグループが行う人権問題に関する学習や啓発活動の支援
- ・ **学校における人権教育（再掲）**
- ・ **家庭の教育力パワーアップ事業（再掲）**
- ・ **地域学び場応援事業（再掲）**



### ② 図書館事業の充実

「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」を目指し、魅力ある図書館づくりを推進する。

また、利用者の電子端末で電子書籍を検索・予約・貸出できる電子図書館サービスを提供する。

さらに、総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、公的施設等への貸与事業を推進する。

- ・ **図書館資料収集等** 144,243千円  
図書資料、文書資料、映像資料の収集・整理・保存・活用等
- ・ **電子図書館推進事業** 8,484千円  
利用者の電子端末で電子書籍を検索・予約・貸出できる電子図書館サービスを提供
- ・ **アジア映画等貸与事業** 1,691千円  
アジア映画等の公的施設等への貸与、公民館での上映、貸与用映像資料の作成
- ・ **南図書館整備事業** 18,112千円  
南市民センターの大規模改修に伴い休館中の南図書館について、令和4年8月リニューアル開館に向けた整備を実施



### ③ 放課後等における居場所の充実

留守家庭子ども会事業について、支援員の増員等を行うとともに、狭あい化施設について、計画的に施設の増改築を進める。

また、放課後等に自由に安心して遊べる場として、わいわい広場の充実に取り組む。

- ・ **留守家庭子ども会事業** 4,768,972千円

保護者等が昼間家庭にいない児童を対象に遊びと生活の場を提供。また、留守家庭子ども会施設の狭あい化等への対応として、施設の増改築等を実施(9施設)

- ・ **放課後等の遊び場づくり事業** 479,625千円

放課後等に学校施設を活用し、自由に安心して遊びや活動ができる場や機会を創出



## 2 コンプライアンスの推進、人材育成・活性化等

### 現状及び課題

#### (1) 不祥事の防止

教職員の不祥事が依然として発生しており、福岡市の教育や教職員に対する市民の信頼確保に向け、コンプライアンス意識を高めるなど、不断の取組みを進めていく必要がある。

#### (2) 教職員の資質・能力の向上・活性化

教育施策の着実な推進及び知識・技能の継承のため、教職員の資質・能力の一層の向上・活性化を図る必要がある。

#### (3) 働きやすい職場環境づくり

職員が心身ともに健康で、やりがいをもって、業務に取り組むことができる職場環境づくりを進める必要がある。

#### (4) 適切な個人情報の管理

多くの個人情報を取り扱う学校においては、組織的に個人情報の適正な管理に対する意識の向上と管理の徹底を図る必要がある。

### 取組みの方向性・具体的な取組み

#### (1) 不祥事の防止

綱紀粛正の通達や懲戒処分の事例検証に基づく指導を行うとともに、専門家等の助言を踏まえたサービス倫理研修の実施などにより、教育委員会と学校が一体となって、不祥事を許さない職場環境の構築、職員の育成に取り組む。

#### (2) 教職員の資質・能力の向上・活性化

「福岡市教員育成指標」に基づいた研修講座の実施や、個別の課題やニーズに応じて選択できる研修の充実などに取り組むとともに、学校にしながら受講できるオンライン研修やオンデマンド研修を実施する。

また、校内研究の推進や支援を行うとともに、表彰等によりモチベーションの向上を図ることで、教職員のより一層の資質・能力の向上・活性化を図る。

#### (3) 働きやすい職場環境づくり

業務改善等による職員の働き方改革を推進し、特に、学校においては、勤務時間を意識した働き方への転換や、学校閉庁日の設定、定時退校日の取組みを徹底するなど、教員が心身ともに健康で、授業や指導に取り組める環境づくりを進める。

#### (4) 適切な個人情報の管理

情報管理についてのサービス規律の徹底を図り、「機密文書の保護に関するガイドライン」及び「学校における個人情報取扱いマニュアル」を順守する。

## II 教育委員会 予算

令和4年度福岡市一般会計予算は、約1兆410億円で、前年度と比較すると、約1,353億円の減額となります。

うち、教育委員会所管の予算は、約1,359億円で、一般会計に占める割合は13.1%となり、前年度と比較すると、約25億円の増となります。また、率にすると、一般会計全体の約1.3%減に対し、約1.9%増となっております。

増加の主な理由は、特別教室空調整備事業や校舎増築など、拡充した事業にかかる経費の増などによるものです。

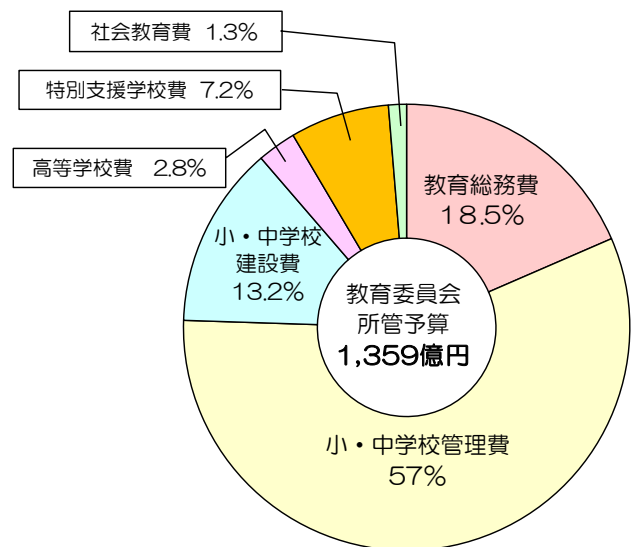
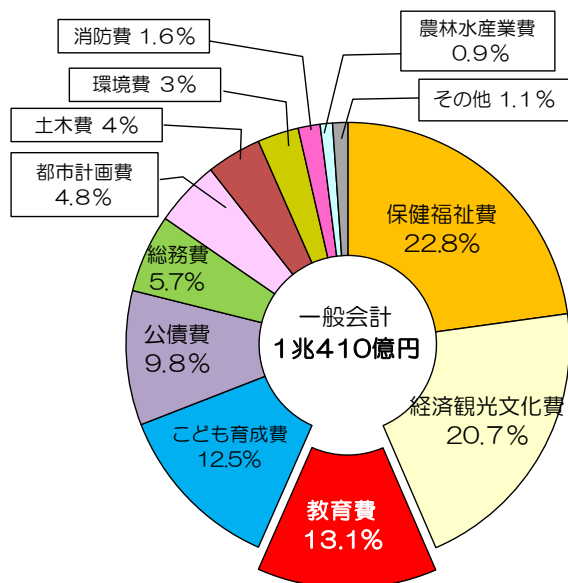
福岡市の令和4年度予算の詳細については、福岡市ホームページをご覧ください。  
「福岡市HP」→「市政全般」→「予算・決算・市債・寄付等」→「予算」

### 教育委員会所管の令和4年度当初予算（一般会計）の規模

(単位：千円)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差引増減 (C)=(A)-(B)	伸び率 (C)/(B)
一 般 会 計	1,041,010,000	1,054,544,000	△ 13,534,000	△ 1.3%
うち 教 育 委 員 会 所 管 予 算	135,946,268	133,448,685	2,497,583	1.9%
一 般 会 計 に 占 め る 教 育 費 の 割 合	13.1%	12.7%		

### 令和4年度福岡市一般会計歳出予算と教育委員会所管予算の内訳





# III 教育委員会 組織図

(令和4年4月1日時点)



※ 各区市民センター・公民館は市民局が、美術館・アジア美術館・博物館・埋蔵文化財センターは経済観光文化局が補助執行しています。  
 ※ 下線部は令和4年度に新設や名称等の変更を行った組織です。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 福岡市の教育施策

令和4年4月

編集発行 福岡市教育委員会（総務部教育政策課）  
〒810-8621  
福岡市中央区天神一丁目8番1号  
TEL：092-711-4412  
FAX：092-711-4600  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/>